

南部町温暖化防止実行計画(区域施策編)(案)に関する意見に対する回答

	意 見	回 答
1	P2 表1.2 国の2040年までの温室効果ガス別その他の区分ごとの目標・目安 国としては、火力発電所をさらに新しくして、石油燃料以外のものを燃やしてタービンを回すことでエネルギーを賄う方にシフトしていくのも大事なのではないか。原子力よりも解体しやすい上に作りやすい。発電所施設を石油燃料以外のものを燃やすいくつかの種類の発電所を作成してもよいのではないか。(有毒・有害ガスが出にくいもの。)	国のエネルギー政策の中で検討が必要なものだと考えます。
2	P33 循環型社会の形成、環境負荷の少ない循環型社会づくり 町のどこかに毎月あるかないかのゴミを捨てるステーションがあるといい。すでに電池は役場に捨てるところがあるが、蛍光管や電池・ビン・缶などなど。また、別のところでないものをおいて(使える状態)、それを持って帰れるような仕組み(建物の中で管理等)。一人暮らしのレンジや掃除機など、ちょっとした棚など。	ごみステーションについては、現状でご理解いただきたいと思います。また、ごみ分別・リユースは廃棄物削減の一つです。常設のリサイクル会場のようなものは、管理上の問題からも現状では難しいと思います。また、不定期の実施についても可否を検討して参ります。
3	P9 南部町内発電電力の再生可能エネルギーについて 太陽光パネルを設置していくことを増進するのはいいが、原子力発電と同じことにならないように。太陽光パネルの処理についても進めていかなければならない。また、空き家になって置かれたままの太陽光パネルは将来的にどうなっていくのか等も考えていかなければいけない。太陽光パネルが将来の負債になるのはどうなのか。今すでにある太陽光パネルと上手く共存していくことも考えなければいけない。	太陽光パネルは、ガラスと金属枠はリサイクルすることが出来、リサイクル事業者も環境省事業により増えている状況です。また、太陽光発電の持ち主には適正処理義務があり、廃棄費用を積み立てる制度になっています。なお、太陽光パネルは耐用年数を超えても使用で出来るものですので、事業の継続実施を推進していきます。空き家の太陽光パネルについては、今後の検討課題とさせていただきます。
4	コンポストを使った地域ぐるみの取り組み、イベント、売ったり。仕組み化をすることでリサイクルセンターの燃やすときに余計なエネルギーを使わなくてすむ。(水分の加減)	現在、生ごみ処理機の購入助成を行い、家庭での生ごみの減量化を進めております。地域ぐるみの生ごみのたい肥化の取り組みについては、今後の検討課題とさせていただきます。
5	P11 (3)森林吸収について、P30 ③太陽光、太陽熱利用の推進 このふたつは矛盾しているのではないか。山に囲まれている中山間地域には、太陽光により自宅の電気を賄えるのか検証する余地はあると考える。個人的主観だと、山に囲まれていない地域でパネルを付けている所が多くみられる気がする。山を切り開いてまですることではないと思うし。	森林吸収(人為的な吸収量を維持すること)と、太陽光・太陽熱利用(排出を減らす)は別の対策となります。後者だけでは排出ゼロは実現出来ませんので、両方とも重要な対策と考えております。また、野立太陽光の設置については、自然環境の保全等に努めるようガイドラインを設けております。
6	クリーンセンターでゴミを焼却した時に出るエネルギーでタービンを回し、発電したり、焼却炉を持っている企業にタービンを回して発電する提案や補助金等を出したり、公共施設でも水を扱うところで、ちょっとした所に歯車の動力を使って発電してもよいのではないか。また、下水道の一部に(水量がそれなりにある箇所)に歯車を回して、動力の発電にすることも現実的ではないかと考えた(行政だからできそうなこと)。発電した電気を公共施設に使い、住民の他の給付金等、イベント等に使えるとよいのではないかと考える。余った電気は売る。)	各種方法による発電については、大規模な施設改修を伴うものについては困難ですが、各事業分野で小規模な取り組みが可能なものについては、ご意見を参考にさせていただきます。
7	P31 ③太陽光・太陽熱利用の促進 家だけでなく、持ち運びできる太陽光パネルが1万円前後であるので、家庭で使う電池を充電式のものを使うように提案。または、持ち運びできる太陽光パネルをいくつか買い、イベントで充電して、電池の充電式のものを配布。そうすることで身近なエコで手軽にできる。自然エネルギーの活用を感じることが出来る上に、実際に家庭でも取り入れやすくなるのではないかと考える。また、マキタの充電式草刈り機でも、草刈りをしている間に持ち運びできる太陽光パネルで充電できることを実演することもありなのかも。(草刈り機・太陽光パネル・蓄電池ポータブルは20万円超えてしまう。今の時点では)	各個人が再エネ利用を感じることが出来ることは非常に重要だと考えています。可能なものについては、ご意見を参考に検討していきます。